

時間預託活動(9月度)

	提供活動	コーディネート	事務所提供	活動管理	当月計	年度計
時間数	28	0	5	10	43	302
人数	6	0	1	5		

奉仕活動 (9月度)

	福祉	子育て	ナルク活動	その他	当月計	年度計
時間数	16	0	7	0	23	248
人数	8	0	7	0	0	

読めますか？

抽斗 比較 私か 備長炭
 密密 吃驚 逼迫 他人事
 人為 妄りに 雰囲気 蔑視
 反故 小火 円やか 吝か



ひきだし ひかく ひそか びんちょうずみ
 ひそひそ びっくり ひっぱく ひとつと
 ひとつとなり みだりに ふんいき べっし
 ほご ぼや まろやか やぶさか

時事川柳

(岐阜新聞入選作)

- *かーどこあるかないかも分からない
- *進まない被害救済まつ信者

はっとり勝弘
 (ナルク会員・岐阜市議会議員)

日本の名画⑬

山口蓬春 (ヤマグチホウシュン)



冬

北海道、現松前町生まれ、東京美術学校（現東京芸術大学）に進学、当初は西洋画学科だったが、松岡映丘に師事し大和絵を習得しました。

戦時中（太平洋戦争）には戦争に協力し、横山大観を会長とした日本美術報告会で日本画部の幹事長を努めたりしました。

1945年3月の東京大空襲を受けて山形県に疎開しましたが、終生は神奈川県葉山の居住しました。

戦後も蓬春は重用され、1950年日展運営会参事、日本芸術員会員、1958年日展常務理事、1969年日展顧問等を歴任しました。1969年に弟子の橋本明治とともに4年がかりで取り組んだ皇居宮殿正殿松の間杉戸『楓』が完成しました。

1970年には「喜寿記念山口蓬春展」が横浜高島屋で開催されるなど、晩年まで創作は続きました。

1965年 文化勲章受章
 1971年 没 享年77才

松下幸之助（一日一話より）いつくしむ

昔、仁徳天皇は、国中に炊事のけむりの乏しいのを見て人民の困窮を知り、三年間課役を中止し、三年後国中にけむりが満ちてはじめて、「民富めり」と再び租税を課された。その間は皇居も荒れ、雨がもるほどであっても修理されなかったという。これは伝説かもしれないが、しかし大事なことは、そのように人民をいつくしむ仁慈の心を持つことが、昔からの指導者のあるべき姿とされてきたことである。そこに日本の一つのよき伝統があり、そういうところから封建時代でさえ数々の名君が生まれたのであろう。そのことが栄えるもとだったのである。民主主義の今日でも、指導者はまず人びとの幸せを願う仁慈の心を持たねばならないと思う。